第３号様式

**放射線透過試験結果書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所名 |  | タンク名称 |  |
| 設置又は変更許可年月日 | 　　　年　　月　　日 | 設置又は変更許可番号 | 第　　　　　　　号 |
| 試験年月日 | 年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 試験技術者名 |  | 技術認定機関・資格 |  |
| 立会い消防職員及びＫＨＫ検査員名 |  |
| 試　　験　　条　　件 | 放射線装置名形式・製造業者 |  |
| 焦点寸法（線源寸法） |  | 使用管電圧 |  | 使用管電流 |  |
| 照射時間 |  | フィルム銘柄 |  | 増感紙 |  |
| 透過度計 |  | 階調計 |  | 識別度 |  |
| 線源・透過度計間距離 |  | 透過度計・フイルム間距離 |  |
| 現像液 |  | 現像温度 |  | 現像時間 |  |
| その他必要な事項 |  |
| 所見 |
| 判定 | 合　格　　・　　不　合　格 |
| 判定者職・氏名 |  |

備考　１　この用紙の大きさは、A 4とする。

　　　２　試験範囲図及び個々の試験部位の成績書を添付すること。

　　　３　フィルムは、提出を求められた場合には速やかに提出できるよう設置者において保管すること。

４　補修を要する場合には、個々の試験部位等にその旨及びその原因となった欠陥の内容（割れの長さ、アンダーカット深さ、ブローホール点数、スラグ長さ等）を記入すること。

　　　５　試験技術者の資格・技量認定証等の写しを添付すること。

　　　６　判定者は、自社の工事監督責任者等とする。